



No. 14

2021年7月14日

野菜の日(8月31日)に合わせ、野菜とサラダに対する意識調査を発表
「サラダ白書 2021」

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ(代表取締役社長:金子俊浩、本社:東京都調布市)は、野菜の日(8月31日)に合わせ、サラダの食文化の把握を目的とした年次調査を2010年から毎年実施し、その結果を「サラダ白書」として発表しています。

今年は、新型コロナウイルス流行以降の野菜に対する意識やフードロスへの関心・意識などについて、全国2,060人の20~69歳の男女にWebアンケート調査を行いました。

<主なトピックス>

- コロナ禍で食べる量が増えた野菜 1位「キャベツ」
料理によく使うようになった野菜1位も「キャベツ」
- コロナ禍で健康のためにより意識するようになったこと
「栄養バランスを整える」「野菜を摂取する」が上位
- フードロス問題に約7割の人が関心
- 家庭で気を付けているフードロス対策
「使う分、食べられる量だけを買う」がトップ
3割以上が「日持ちする商品を購入」
- 調理する際にできれば利用したい野菜の部位
1位:大根の葉 2位:ブロッコリーの芯 3位:ネギの青い部分
- パッケージサラダの利用頻度
週1回以上は約4割で、2013年以降最も高い結果に

<主な調査結果>

■ コロナ禍で食べる量が増えた野菜、1位は「キャベツ」

新型コロナウイルス流行以降(2020年4月以降)、摂取量が増えた野菜について尋ねたところ、「キャベツ」(15.6%)がトップとなりました。次いで「玉ねぎ」(13.6%)、「白菜」(13.0%)の順に続いています。

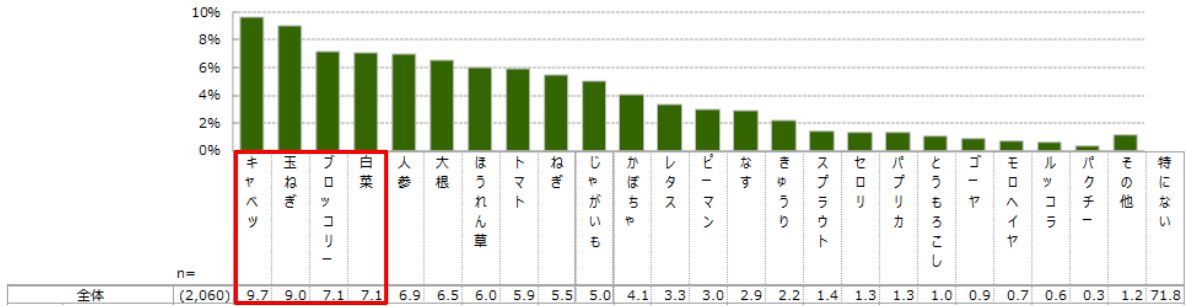
Q. 新型コロナウイルス流行以前(2020年4月以前)と現在を比較して摂取量に変化があった(増えた)野菜はありますか。(複数回答)



■ コロナ禍で料理によく使うようになった野菜、1位は「キャベツ」

新型コロナウイルス流行以降(2020年4月以降)、料理でよく利用するようになった野菜について尋ねたところ、「キャベツ」(9.7%)がトップとなりました。次いで「玉ねぎ」(9.0%)、「ブロッコリー」「白菜」(7.1%)の順に続いています。

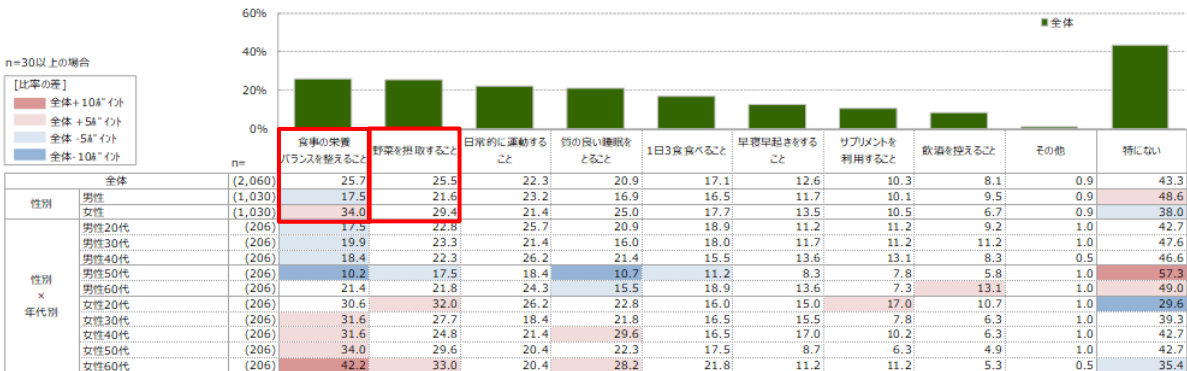
Q 新型コロナウイルス流行以降(2020年4月以降)、料理でよく利用するようになった野菜はありますか。(複数回答)



■ コロナ禍で健康のためにより意識していること、「栄養バランスを整える」「野菜を摂取する」が上位

新型コロナウイルス流行以降(2020年4月以降)、健康のために意識していることについて尋ねたところ、「栄養バランスを整える」(25.7%)、「野菜を摂取する」(25.5%)が上位に入りました。特に女性は、男性に比べて「栄養バランスを整える」「野菜を摂取する」の回答が多い結果になっています。

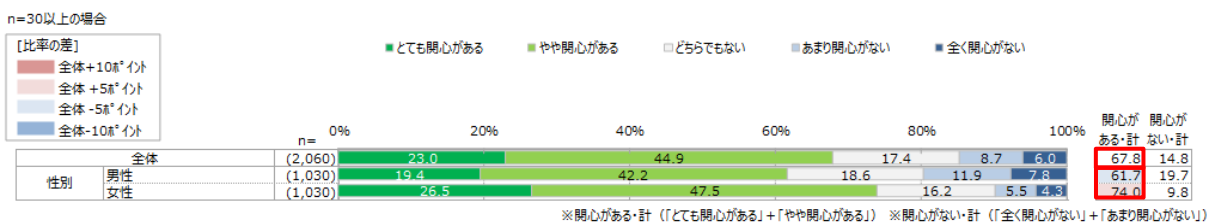
Q 新型コロナウイルス流行以降(2020年4月以降)、健康のためにより意識している行動はありますか。(複数回答)



■ フードロス問題に約7割の人が関心

フードロス問題に関心があるかと尋ねたところ、約7割が「関心がある」と回答しました。内訳を見ると、男性よりも女性の方がフードロス問題への関心が高いことが伺えます。

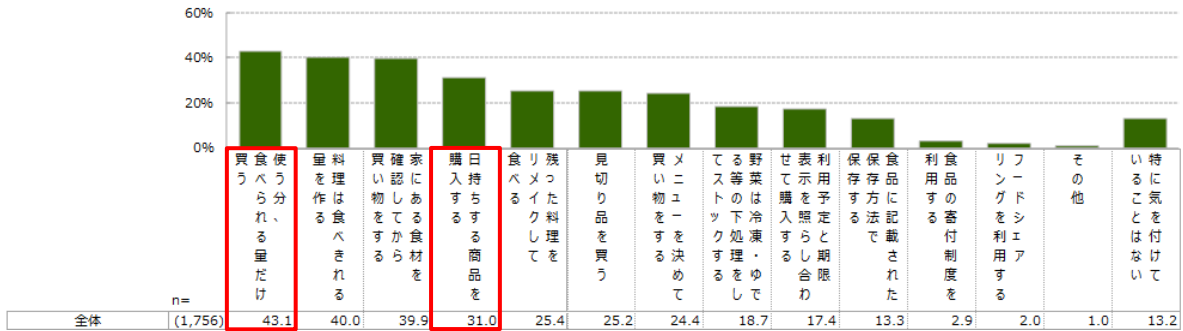
Q フードロスの問題に関心がありますか。(単数回答)



■ 家庭で気を付けているフードロス対策「使う分、食べられる量だけを買う」がトップ。3割以上が「日持ちする商品を購入」している

フードロス問題に関心がある方に、フードロス対策として家庭で気を付けていることを尋ねたところ、「使う分、食べられる量だけを買う」（43.1%）がトップとなりました。また、3割以上が「日持ちする商品を購入」していることが分かりました。

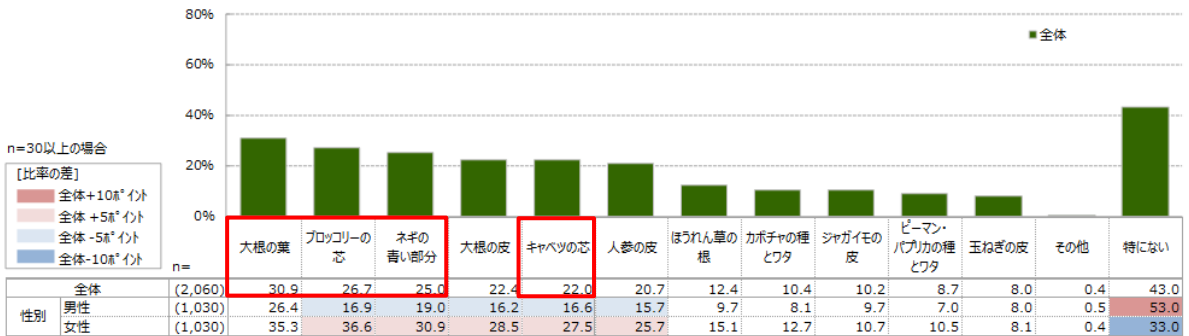
Q. フードロスを防ぐために家庭で気を付けていることはありますか。(複数回答)



■ 捨ててしまいがちだが実は調理に利用したいと思っている野菜の部位
1位:大根の葉 2位:ブロッコリーの芯 3位:ネギの青い部分

捨ててしまいがちだが、できれば調理に利用したいと思っている野菜の部位について尋ねたところ、「大根の葉」（30.9%）が最も高く、次いで「ブロッコリーの芯」（26.7%）、「ネギの青い部分」（25.0%）が上位に入りました。また、「キャベツの芯」を利用したいと思っている方も2割以上いることが分かりました。

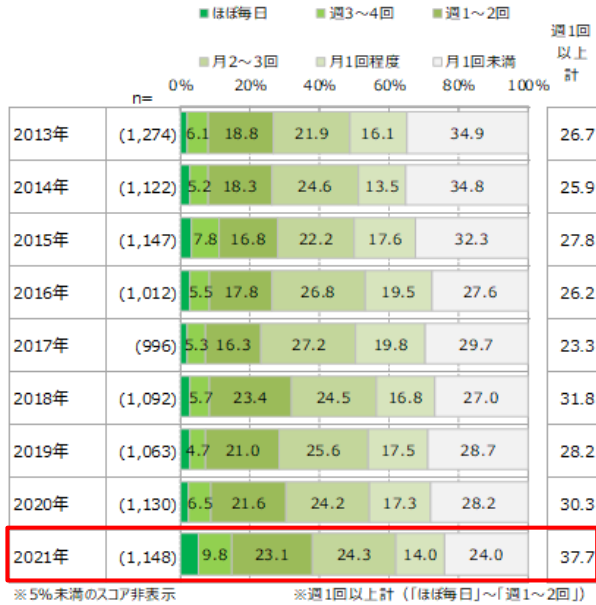
Q. 調理する際にできれば利用したいと思っている野菜の部位はありますか。(複数回答)



■ パッケージサラダを週1回利用する人は37.7%で、2013年以降最も高い結果に

パッケージサラダを1年以内に利用したことがある人に、パッケージサラダの利用頻度を尋ねたところ、「週1回以上利用する」と答えた割合は37.7%で、2013年以降で最も高い結果になりました。

Q. パッケージサラダをどのくらいの頻度で利用されますか。(単数回答)



■ サラダ白書 2021 調査概要

調査方法 : Web アンケート調査
 調査対象 : 全国の20歳~69歳の男女 合計2,060名
 調査期間 : 2021年2月24日(水)~2月27日(土)

■ 株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、色々な種類の野菜を組み合わせ、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により1999年に設立しました。利便性と価格が一定という経済性が評価され需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア(金額)*を占め、販売店舗数は16,030店(2020年11月現在)となっています。

* : マクロミル QPR (サラダメーカー別 2020年1月-2020年12月)

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 広報・広告宣伝部 吉田・鳥塚・伊豆野

TEL. 03-5384-7690 (直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町2-5-7

<https://www.saladclub.jp> E-mail. info@saladclub.jp

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL.0120-662-831